

令和2事業年度事業報告書  
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1. 事業活動

(1) 公益目的事業

本事業については、研究開発助成等として13件21,373千円(表Ⅰ)、海外に対する普及協力及び国際交流等助成として1件1,500千円(表Ⅱ)、放送大学の学生に対する助成として19,127千円(表Ⅲ)、合計で前年度と同額の42,000千円の助成を実施した。

(単位:千円)

助成項目	令和2年度	令和元年度	対前年度比
研究開発助成等(表Ⅰ)	21,373	22,969	△ 1,596
海外に対する普及協力及び国際交流等助成(表Ⅱ)	1,500	2,031	△ 531
放送大学の学生に対する助成(表Ⅲ)	19,127	17,000	2,127
合 計	42,000	42,000	-

表Ⅰ 研究開発助成等

事業名	申請代表者	所属大学・職名
放送大学の連携協力の推進による学生増加方策について	岡田 光正	放送大学 理事・副学長
学習教育戦略研究所における研究の推進	岡田 光正	放送大学 副学長・学習教育戦略研究所長
Ⅰ 「臨床心理士・公認心理師養成における、通信制大学の役割 メディアを介した、学生-教員の双方向の授業体制づくりにむけて」の実施		
Ⅱ 「人を対象とする研究倫理に関する教育プログラムの開発の試み」の実施		
Ⅲ 「2020年度第1学期面接授業のWeb会議方式等による代替開講の実施状況に関する調査研究」の実施		
Webキャスティングコンテンツのマルチデバイスアプリ開発に関する研究(3-3)	児玉 晴男	放送大学 教授
音声認識システムを活用したメディア教材の字幕化及び多言語化の研究(3-3)	広瀬 洋子	放送大学 教授
パソコン視聴に適合した放送教材の音質とその改善の研究(2-2)	仁科 エミ	放送大学 教授
博物館と連携した遠隔教育システムの確立に向けた拠点形成(2-1)	稲村 哲也	放送大学 特任教授
インターネットを利用した機器分析実験教育システムの開発(2-1)	大森 聡一	放送大学 准教授

地方における高校生及び若年社会人の学習ニーズに対応した遠隔高等教育機関の活用方策に関する研究	岩永 雅也	放送大学 副学長
成人学習者のセグメント化による学習ニーズに応じた学習環境整備に関する研究(展開)	岩崎 久美子	放送大学 教授
放送大学教材制作と地域貢献のインターラクティブ活動に関する研究事業	坂井 素思	放送大学 教授
保育者養成校におけるオンライン授業と個人練習を支援する学習教育システム開発のためのピアノ初級者個人練習モデルの構築	辻 靖彦	放送大学 准教授

表Ⅱ 海外に対する普及協力及び国際交流等助成

事業名	申請代表者名	所属大学・職名
感染症流行に伴う大学遠隔授業の導入と其中長期的含意－日中米比較(2-1)	苑 復傑	放送大学 教授

表Ⅲ 放送大学の学生に対する助成

<p>① 学生支援給付金事業への助成 (新型コロナウイルス感染症関連及び自然災害被害者に対する助成)</p> <p>② 学生団体活動への助成 (サークル情報誌、活動連絡等に係る経費の一部補助)</p> <p>③ 放送大学同窓会連合会等が行う学生支援事業に対する助成 (学生相談会等の学生支援事業に係る経費の一部補助)</p>
--

(2) 印刷教材出版・頒布事業

本事業については、令和3年度新刊本(57科目)163.9千部、既刊本406.2千部、合計570.1千部を頒布した。学園への納入部数は、学部488.5千部、大学院13.2千部の合計501.7千部で対前年度比170.8千部増加、市販部数は学部62.2千部、大学院6.3千部の合計68.4千部で対前年度比4.0千部増加した。この結果、合計では、対前年度比174.8千部の増加となった。

(単位:部)

区 分	内 訳	令和2年度	令和元年度	対前年度比
放送大学学園納入部数	学部	488,530	323,032	165,498
	大学院	13,170	7,850	5,320
	計	501,700	330,882	170,818
市販部数	学部	62,162	57,176	4,986
	大学院	6,278	7,250	△ 972
	計	68,440	64,426	4,014
合 計		570,140	395,308	174,832

(3) 放送教材複製・頒布事業

本事業については、授業科目について、新刊390枚、既刊600枚の計990枚、特別講義については、既刊3枚を複製・頒布した。この結果、放送教材の複製頒布数は、対前年度比483枚減少の993枚となった。

(単位:枚)

区 分	内 訳	令和2年度	令和元年度	対前年度比
放送教材	授業科目	990	1,455	△ 465
	特別講義	3	21	△ 18
	計	993	1,476	△ 483

2. 事業活動収支状況

(1) 印刷教材出版・頒布事業

本事業による収益は、放送大学への納入部数、市販部数共に増加(放送大学170.8千部増、市販部数4.0千部増)したことにより対前年度比243,221千円増加の816,256千円となった。

一方印刷教材作成費は、販売数量の増加に伴い対前年度比55,074千円増加の285,970千円となり、この結果収支は、対前年度比188,147千円増加の530,286千円となった。

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比
印刷教材出版・頒布事業収益	816,256	573,035	243,221
印刷教材作成費	285,970	230,896	55,074
収 支 ①	530,286	342,139	188,147

(2) 放送教材複製・頒布事業

本事業による収益は、授業科目の頒布が減少したことにより、対前年度比4,024千円減少の11,330千円となった。

一方放送教材作成費は、頒布数量及び著作権費の減少に伴い、対前年度比5,376千円減少の6,310千円となり、この結果収支は、対前年度比1,352千円増加の5,020千円となった。

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比
放送教材複製・頒布収益	11,330	15,354	△ 4,024
放送教材作成費	6,310	11,686	△ 5,376
収 支 ②	5,020	3,668	1,352

(3) 資産運用益等

基本財産・特定資産(放送教育振興基金)及びその他の投資有価証券の資金運用益等は、対前年度比1,065千円減少の24,200千円となった。また、その他雑収益等については、対前年比1,293千円の減少となり、この結果資産運用益等は、対前年度比2,358千円減少の24,317千円となった。

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比
資産運用益	24,200	25,265	△ 1,065
その他雑収益等	117	1,410	△ 1,293
計 ③	24,317	26,675	△ 2,358

(4) 助成事業・管理費等

助成事業支出は、前年度と同額。事業管理費支出については、対前年度比3,311千円の減少、管理費支出については、対前年度比139千円の増加となり、これらの支出の合計は、対前年度比3,171千円減少の357,487千円となった。

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比
助成事業支出	42,000	42,000	-
事業管理費支出	281,845	285,156	△ 3,311
管理費支出	33,642	33,503	139
支出計 ④	357,487	360,658	△ 3,171

#### (5) 収支の状況

以上の結果、当期の経常増減額は、対前年度比190,313千円増加の202,136千円となった。

一方、当期一般正味財産増減額では、保有有価証券の時価評価額が54,650千円増加、法人税等78,370千円を納付した結果、対前年度比 197,963千円増加の 178,416千円となった。

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比
事業収支合計 ⑤( ①+②+③ )	559,623	372,482	187,141
助成事業・管理費等支出合計 ( ④ )	357,487	360,658	△ 3,171
当期経常増減額 ⑥ ( ⑤-④ )	202,136	11,823	190,313
投資有価証券評価損益等 ⑦	54,650	△ 21,260	75,910
法人税等 ⑧	78,370	10,111	68,259
当期一般正味財産増減額 (⑥+⑦-⑧)	178,416	△ 19,547	197,963

#### 3. 正味財産期末残高

上記の結果、令和2年度の正味財産期末残高は、3,027,171千円となった。

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比
正味財産当年度末残高	3,027,171	2,848,755	178,416

#### 4. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書  
「事業報告の内容を補足する重要な事項」については、該当の事項はない。

(注)

- 1 消費税は、税抜き表示。
- 2 表の計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。